

第5学年 社会科学学習指導案

日 時 平成19年1月 日 () ~ 2月 日 ()
 場 所 仙台市立 小学校 5年 組 ~ 組
 平成18年度 実践的指導力研究分野 長期研修員

1 小単元名 わたしたちの国土と各地の暮らし

2 単元の目標

自然環境に適応しながら生活している人々の工夫や国土の位置、地形、気候の概要について各種資料を効果的に活用して調べ、我が国の国土の自然とくらしの様子がわかるようにする。

3 単元の評価規準

[関心・意欲・態度]	[思考・判断]	[資料活用の技能・表現]	[知識・理解]
<ul style="list-style-type: none"> 自然環境から見て特色のある地域の様子に関心をもち、国土の位置、地形、気候の概要について進んで調べている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境から見て特色ある地域の人々の生活や産業をとらえるとともに、国土の位置、地形、気候は相互に関連し、地域ごとに特色があることを具体的に考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種資料を効果的に活用して調べ、自然環境からみて特色ある地域の様子や国土の自然、くらしについてまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然条件から見て特色ある地域の人々のくらしは、生活や産業を工夫しながら環境に適応していることを理解し、国土の位置、地形、気候の概要と地域ごとの特色を具体的に理解している。

4 教材観

本小単元は、学習指導要領第5学年の内容(4)のア「国土の位置、地形や気候の概要、気候条件から見て特色のある地域の人々の生活」を受けて設定した。

日本は主な4つの島と小さい島々によって構成されている島国である。ユーラシア大陸の東側に位置し、西側は、日本海を挟んで中国や韓国、ロシアなどの諸外国に接している。今までの歴史や諸外国との認識の相違などにより領土における問題も多く抱えており、最近も北方領土問題、竹島問題などがニュースとして取り上げられている。

国土や気候の特色としては南北に弓状に連なった島々が約3000km続いており、南と北で気候が大きく違うことが挙げられる。また、狭い国土ながら山脈や海流、季節風などの影響を受けることで、地域によって様々な気候の特色が見られる。

国内には様々な気候の特色が見られる地域がある中で、本小単元では沖縄県と北海道を取り上げて学習を行うことにしたい。沖縄県は、年間を通じて温暖な気候を生かして特色のある農産物を作っており、近年では、航空機を活用して本土に作物を輸送するなど工夫した取り組みを行っている。また、独特の歴史をもつ美しいリゾート地という面の他にも環境保護問題や米軍基地問題などの問題を抱えている地域でもある。

北海道は、冬季の厳しい寒さに対応して生活できるように住居や道路などに工夫が施されている。また、広い大地を生かした農業や酪農を行っており、気候や土地の特色を生かした産業が行われている。寒さに耐えるだけでなく、寒冷な気候を生かしたスポーツや祭りなども盛んで、沖縄県と同様に観光業が盛んな地域でもある。

沖縄県と北海道のくらしや産業の様子の特色を取り上げることが、仙台市の特色と違いが大きく、児童が新たな驚きや疑問をもって学習に取り組む上で有効であると考えた。さらに、国土や地形の特色や人々が国土の自然環境に適応しながら生活や産業を営んでいる様子を学習することは、これからの日本に生き

る子どもたちにとって、日本の姿を正しく理解することにつながる大切な学習であると考えた。

5 児童観

今まで二つの単元を通して指導してきたことで、児童は資料を活用しながら学習を進めていくことに慣れ、資料から様々な情報を読み取ることで、今まで気が付くことができなかった社会的事象を知ることの喜びを感じることができるようになってきている。特に第Ⅱ期の実践の終了後に実施したアンケートによると、資料を読み取ることに自信を持ち始めた児童が多いことが分かった。

また、自動車工業の学習では、単元の最後に自分の課題をパンフレットなどを使い調べる活動を取り入れたところ、集中してノートにまとめる様子が見られた。このようなことから児童は資料を活用して学習を進めることに意欲をもって取り組めるようになってきている。

本小単元にかかわる内容に関するアンケートをとったところ、隣国の名称や国土の特色についての知識が乏しい児童が多いことが分かった。北海道についての質問では、寒い・雪で遊べる・雪祭りなどの他に野菜や乳製品についての回答が目立った。沖縄県についての質問では、暑い(暖かい)・台風が来る・海がきれい・さとうきび・ゴーヤなどの意見が多かった。このような結果から、児童は大まかな気候の特色や主な農産物についての断片的な知識はもっているが、気候に合わせて住居の工夫をしていることや主な産業が特色のある気候を生かしていることへの認識は薄いことが明らかになった。

6 指導観

まず、国土の様子について理解する場面では、大まかな日本地図を書く活動を行う。この活動を通して日本列島の形を改めて見直す機会を作り、国土の様子を理解しようとする意欲を高めていきたい。

近隣諸国の名称や位置・国旗を学習する際には、白地図に調べた内容を児童に記入させるなどの作業的な学習を取り入れたり、クイズを行ったりすることで名称や位置をしっかりと理解させたい。また、名称や位置以外にも分かったことを書き加えられるように白地図の形式を工夫し、学習後に分かったことを付け加えられるようにしていきたい。

日本全体の気候の特色についての学習では、児童にとって身近な地域である山形県と宮城県の冬の気候の違いを導入で扱うことで、山脈や季節風が気候へ影響を与えていることに気が付かせていきたい。

温暖な気候の事例地として沖縄県を取り上げる場面では、観光地としての面だけでなく、気候に合わせた住居の工夫や気候に合わせた農業の特色、環境保護問題、米軍基地問題などを事例として取り上げ、意外性のある事実と向き合わせることで、児童の追究意欲を高めていきたい。

寒冷な気候の事例地として北海道を取り上げる場面では、広大な土地や冷涼な気候を生かした農産物を生産するための工夫や努力に目を向けさせるために防風林を取り上げ、その役割を考えさせていきたい。また、家や学校の作りが仙台とは違うことに着目させたり、冬の寒さを生かした祭りやスポーツを取り上げたりすることで、寒い気候に合わせて暮らしを工夫していることに目を向けさせたい。

話し合いの場面では二者択一的なテーマを設定する時間を設け、自分の立場を決めた上で意見を発表させていきたい。そうすることにより、自分の意見の根拠を資料などから探す視点が明確になり、自信をもって発表できるようになるであろう。また、自分とは反対の意見に対して関心をもって聞くことで多面的なものの見方・考え方ができるようになると考える。

7 指導計画(9時間扱い)

	主な学習活動	指導上の留意点・支援	評価規準(観点)
1	国土の位置や範囲、日本を構成する主な島の名称や近隣の国名や国旗を地図帳などで調べ、白地図に記入する。	・簡単な日本地図を書く活動を取り入れ、日本列島の形や国土の範囲を改めて意識させるようにする。	・地図帳を活用して、島や国などの名称を調べ、白地図に記入している。 [技能・表現]
2	日本の南と北の地域の様子を写真や雨温図から調べ、沖縄と北海道の気候と産業の様子について関心をもつ。	・雨温図の読み方を指導し、南北の気候の違いから産業や人々の生活に気がつかせるようにする。	・気候によって人々の暮らしがちがうことに興味・関心を持ち、調べようとする意欲をもっている。 [関心・意欲・態度]
3	家の特色を調べることで沖縄県	・台風が来ることや降水量が仙台市	沖縄の気候や地形の特色と

	の人々が気候条件に合わせて工夫して生活していることが分かる。	よりも多いのに貯水槽が必要なことから疑問を持たせ、追究意欲を高められるようにする。	住居の工夫を結びつけて考えている。[思考・判断]
4	沖縄の農業の特色を菊栽培の様子を通して調べ、暖かい気候を生かした農業を行っていることが分かるようにする。	・電照菊栽培を題材にして、暖かい気候に合わせた農業を行っていることに気が付けられるようにする。	・菊の栽培の様子を調べることを通して、農業の特色と暖かい気候を結びつけて考えている。[思考・判断]
5	美しい自然や歴史を生かした観光に力を入れていることを調べるとともに、環境保護問題や米軍基地問題の存在を知り、沖縄の人の悩みや願いを考える。	・観光振興と環境保護を両立させることの難しさを意識させるとともに、米軍基地問題を取り上げることによって沖縄の抱えている問題や人々の願いを考えられるようにする。	・環境保護問題や米軍基地問題について調べ、これからの沖縄についての人々の願いを考えている。 [思考・判断]
6	・寒い冬を過ごすための人々の工夫を様々な資料を活用して調べることができるようにする。	・児童にとって身近な学校生活の違いに着目させることで、寒さを生かした遊びや快適に過ごすための工夫に着目させるようにする。	・寒さの厳しい北海道に住む人々のくらしの工夫が分かる。 [知識・理解]
7	・北海道では広大な土地や冷涼な気候を生かして多くの農産物が作られていることを地図帳などを活動して調べる。	・耕地の色が違うことや防風林の存在に着目させることで、多くの農産物を生産するための人々の工夫に気がつくようにする。	北海道では農家の人々が広大な土地や冷涼な気候を生かした農業を行うために、様々な工夫や努力を行っていることをとらえている。 [知識・理解]
8	北海道の厳しい寒さの中でも、雪や氷や寒さを生かしながらくらすための工夫を考える。	・学習問題を工夫した話し合いを行い、北海道にしかない観光資源としての寒さ、氷を生かした産業やまつりを行っていることに気が付かせたい。	・北海道の厳しい寒さと雪や氷や寒さを生かしたくらしの工夫を結びつけて考えている。 [思考・判断]
9	日本の地形に関心を持ち、主な山脈、川、半島の名称を調べ、地形の様子について特色をまとめる。	・白地図に記入させる地名や場所を地図帳で確認させたり、指で指し示したりすることで、地名のみの知識にならないように配慮する。	・地図帳を活用して、主な山脈や川、半島のなどの名称を調べ、日本の地形の特色をまとめている。 [技能・表現]

8 各時間の学習指導

【第1時（1／9）】

(1) 本時のねらい

国土の位置や範囲、日本を構成する主な島の名称や近隣の国名や国旗を地図帳などで調べ、白地図に記入できるようにする。

(2) 指導過程

主な学習活動	指導上の留意点・支援	資料等
1 地図を見ないで日本の地図を書く。	・細かいところまで詳しく書いている児童には、大まかな形でよいことを助言する。	・白地図
2 近くの友達と見せ合い、おかしな所や足りない所について話し合う。	・友達と違うところを見つけることで、正しい日本地図はどうなっているか調べたいという興味をもたせたい。	
わたしたちの住んでいる日本の国土についてくわしく調べよう。		

<p>3 配布された白地図に主な島（北海道，本州，四国，九州）の名称を記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板に同じ白地図を掲示し，場所を確認しやすくする。 ・「日本列島」という言葉も確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本地図（掛図）
<p>どこからどこまでが日本なのだろう？</p>		
<p>4 日本の東西南北の端を地図帳で調べ，島の名称を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地図帳で調べる際には席の隣同士で確認し合うようにする。 ・島の名称は漢字で記入させる。 ・北方領土の名称や経緯についても簡単に触れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図帳 10 ページ ・島の写真
<p>5 緯度・経度を使って地図上の場所を表す方法があることを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地図帳 10 ページを見て，緯度・経度を白地図に記入させる。 ・地球儀を使って，緯度・経度について簡単に説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球儀 ・地図帳 50 ページ
<p>日本はどこにあると言えるのだろうか？</p>		
<p>6 日本の近くの国や国旗，海の名称を調べ，日本がアジアの中でどのような場所に位置しているかを様々な方法で表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の西の方には日本海があります。 ・日本は中国の東にあります。 ・日本の近くには韓国があります。 	<p>補表現方法を考えた児童から板書させ，思いつかない児童の参考にさせる。</p> <p>発一つ考えた児童はさらに多くの表現を考えさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地図帳 ・国旗の写真（ロシア，中国，韓国，北朝鮮）
<p>7 次時の学習内容を知る。</p>		

(3) 本時の評価規準

地図帳を活用して，島や国などの名称を調べ，白地図に記入している。[技能・表現]

【第2時（2／9）】

(1) 本時のねらい

日本の南と北の地域の様子を写真や雨温図から調べ，沖縄と北海道の気候と産業の様子について関心をもてるようにする。

(2) 指導過程

主な学習活動	指導上の留意点	資料等
<p>1 仙台市と山形市の写真を比較し，気候の違いに着目する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうして山形と仙台では雪の降る量が違うのだろうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・縦長の信号機や消雪パイプの写真などから，緯度的に変わらない2県の気候の違いに疑問を持たせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真（縦長の信号機，消雪パイプ） ・日本地図（掛図）
<p>日本の気候の特色を調べてみよう。</p>		
<p>2 地域によって気候が違うことを地形との関連で考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山脈と季節風が気候の違いに関係ある。 ・日本海側→雪が多い。季節風 ・太平洋側→雪は少ない。晴れる日が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台市と山形市の冬の気候の違いから太平洋側と日本海側の気候の特色を調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料集 p 85
<p>3 沖縄と北海道の同じ時期の写真から南と北での気候の違いに着目する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・南北に 3000 km の長さで 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図帳 p 54

<p><北海道></p> <ul style="list-style-type: none"> ・寒そう。服をいっぱい着ているよ。 ・雪が多くて大変そうだ。 <p><沖縄></p> <ul style="list-style-type: none"> ・半袖の人もある。 ・なんかあつそうに見える。 ・花がいっぱい咲いているよ。 <ul style="list-style-type: none"> ・どうして違うのかな。 ・どんな生活をしているのかな。 	<p>あることにも着目させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真から気が付いたことだけでなく、疑問も記入させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料集 p 84 <p>2 日本の気候区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨温図（石垣市、陸別町）
<p>4 小単元の学習問題をつかむ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">人々は気候に合わせてどんな工夫をしてくらしているのだろう。</p>		

(3) 本時の評価規準

気候によって人々のくらしがちがうことに興味・関心をもち、調べようとする意欲をもっている。

[関心・意欲・態度]

【第3時（3／9）】

(1) 本時のねらい

家の特色を調べることで沖縄県の人々が気候条件に合わせて生活していることや沖縄県の地形の特色が分かるようにする。

(2) 指導過程

主な学習活動	指導上の留意点	資料等
<p>1 沖縄、北海道、仙台の代表的な住宅の写真を見比べ、どの写真がどの地域の家かを考える。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">どの地域の家か考えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3人組で話し合わせ、考えの根拠をノートに書かせる。 	<p>○写真</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリートでできた沖縄の家 ・寒さ対策が施されている北海道の家 ・仙台の家
<p>2 考えた結果を発表する。</p> <p>3 沖縄の家を取り上げ、特色を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリートでできている。 ・タンクがある。 ・屋根が平らになっている。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">沖縄の家はどうして仙台の家とちがう作りなのだろう？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の際には「家の〇〇のような特徴から〇〇と考えました。」のように家の特徴をもとに、根拠付けした発表ができるように支援する。 ・北海道の家については後から取り上げることを話し、本時では沖縄の家を中心に考えることを説明する。 	
<p>4 教科書や資料集を使って、理由を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリートの家 →台風の数が多から台風に負けないようになっている。 ・屋根の上のタンク →雨がよく降るのになぜ？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章資料からだけでなく、雨温図の読みとりから雨の多さを指摘できるようにする。 ・仙台市よりも多く雨が降るのに、どうしてタンクが必要なのか考えさせることで地形の特色に関心をもたせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 p 33 ・グラフ（雨温図） ・グラフ（沖縄県に台風が接近する回数）

雨がたくさん降るのになぜ、水のタンクが必要なのだろう。		<ul style="list-style-type: none"> ・地図帳 ・写真（海水淡水化施設）
<p>5 屋根の上に水のタンクが必要な理由について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな長い川がないから。 ・高い山がないから。 ・ダムが少ないなら作ればいいのに。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長い川がないことや高い山がないことに気が付かせるために、宮城県の山や川と比較させる。 ・海水淡水化施設については時間がある場合に提示する。 	
<p>6 今日の学習で分かったことをノートにまとめる。</p>	<p>補キーワードを示し、家の作りと地形の特色を結びつけて考えるように支援する。</p>	

(3) 本時の評価規準

沖縄の気候や地形の特色と住居の工夫を結びつけて考えている。

[思考・判断]

【第4時（4／9）】

(1) 本時のねらい

沖縄の農業の特色を菊栽培の様子を通して調べ、暖かい気候を生かした農業を行っていることが分かるようにする。

(2) 指導過程

主な学習活動	指導上の留意点	資料等
<p>1 電照菊畑の写真から疑問点を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんで電球があるのかな。 ・この花は何かな？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・花の名前や仙台でも栽培できることは教え、沖縄で作っていることへの疑問を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真（電照菊畑） ・実物（小菊）
<p>2 学習問題を設定する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">沖縄での菊作りの工夫を調べよう。</p>		
<p>3 グラフをもとに沖縄で菊を栽培している理由について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出荷しているのは秋から春にかけてだ。 ・3月に多いのはなぜかな？ ・ほかの地域は寒くて作れないから沖縄で作っているんだね。 ・なんで、電球をつけているのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県以外の地域の出荷量と沖縄県だけの出荷量を月別に提示することで、出荷時期の特色に気が付けたい。 ・畑の上に電球があることに着目させ、果たしている役割について考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフ（月別出荷量） ・写真（電照菊畑）
<p>4 菊栽培農家の児童の作文から菊を栽培するための工夫や努力を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風が来ると大変なんだ。 ・飛行機で運んでいるんだね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作文の文章の中でキーワードとなる言葉は隠しておき、予想させることで、菊栽培の工夫や努力に気が付けたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・菊栽培農家の児童の作文
<p>5 今日の学習で分かったことをノートにまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習のキーワードを示し、まとめの中に入れられるように助言する。 （菊、出荷、台風、飛行機など） 	

(3) 本時の評価規準

菊の栽培の様子を調べることを通して、農業の特色と暖かい気候を結びつけて考えている。

[思考・判断]

【第5時（5／9）】

(1) 本時のねらい

美しい自然や歴史を生かした観光に力を入れていることを調べるとともに、環境保護問題や米軍基地問題の存在を知り、沖縄の人の悩みや願いを考えるようにする。

(2) 指導過程

主な学習活動	指導上の留意点	資料等
1 グラフから多くの観光客が沖縄を訪れていることをつかむ。	・年間約450万人を一日当りに直すことで数の多さを実感させたい。(約13,000人/日)	・グラフ 観光客のグラフ
観光客はどんなことを楽しみに沖縄を訪れるのだろう。		
2 今までの経験や教科書や資料集などから調べたことを発表する。 ・美しい海で泳ぎに来る。 ・エイサーを見に来る。 ・沖縄の食べ物を食べに来る。 ・きれいなさんごしょうを見に来る。	・調べた内容はノートに箇条書きにさせ、一文に1つの内容を書くようにさせる。 ・資料を根拠に発表できた児童を賞賛することで、根拠をもって発表することの大切さを伝えたい。	・きれいな海の写真 ・珊瑚礁の写真
3 観光をさかんにするために、どのような工夫をしているのかを考える。 ・ホテルを建てる。 ・道路を作る。	・観光客の多さから宿泊する場所を作る必要性に気が付かせたい。	・旅行ガイド、パンフレット
4 赤土流失の写真から開発と自然保護の両面から沖縄の抱える問題を考える。 ・観光客を増やすためには、ホテルを作るのはしょうがないよ。 ・きれいな海を守ることの方が大事だよ。	・「観光客の多くはきれいな海を見に来てのに、海が汚れてしまってよいのだろうか？」と問いかけることで沖縄の人の悩みや願いに気が付かせたい。	・写真(赤土流失)
ほかにも困ったことはないのだろうか？		
5 基地周辺の航空写真から、基地があることの問題を考える。 ・基地のせいで住む場所が狭くなっている。 ・飛行機やヘリコプターでうるさそう。	・ビデオを視聴させることで基地に関する騒音に気が付かせる。 ・基地の返還を求めていることを説明する。	・普天間基地の写真 ・ビデオ(基地のすぐ近くにある学校)
6 今日の学習で分かったことをノートにまとめる。	・沖縄の良いところだけでなく、問題も抱えていることや住民の願いにも着目して書けるように支援する。	

(3) 本時の評価規準

沖縄の観光の様子を調べることで、環境を守ることや米軍基地の存在に気づき、沖縄人々の悩みや願いを考えている。[思考・判断]

【第6時（6／9）】

(1) 本時のねらい

寒い冬を過ごすための人々の工夫を様々な資料を活用して調べることができるようにする。

(2) 指導過程

主な学習活動	指導上の留意点	資料
1 陸別町の雨温図から気候の特色を読み取		・陸別町の雨温図

<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月は-10℃以下だ。 ・一番暑い8月でも20℃ぐらいだ。 		
<p>2 学習問題をつかむ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">寒さがきびしい北海道では、人々はどのような工夫をしているのだろう。</p>		
<p>3 冬がとても寒いことで困ることや疑問点を考え、発表する。</p> <p>①家</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家の中は寒くないのかな ・ヒーターに灯油を入れるのが大変 <p>②学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何をして遊ぶのかな？ ・体育は何をするの？体育館は寒いのか。 <p>③道路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪が積もったり凍ったりしたら危ない。 <p>④その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・考える観点として ①家で ②学校で (休み時間, 体育の時間) ③道路で ④その他 <p>の四つを与え、仙台の冬でも困っていることと関連して考えさせたい。</p>	
<p>4 北海道の家の写真を読みとり、工夫を見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな灯油タンクが家の外にある。 →車で入れに来てくれる。 →夏でもストーブを使うことがある。 ・玄関が二重になっている。 →寒い空気が家の中に入らないようになっている。 ・窓が二重になっている。 →寒さを遮っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を見る視点を与えることで工夫の意味を考えさせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道の家の写真
<p>5 教科書 p 41 の記述を読み、②、③に関する疑問を解決する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロードヒーティングで道路を温めているから安心して走れるね。 ・体育館も暖房してあるんだね。 ・校庭でスケートができるんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 p 41 のメール文で大事な部分にアンダーラインを引かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 p 41 (または、北海道の小学校教師の話) ・ロードヒーティングの写真 ・校庭でスケートをしている写真
<p>6 今日の学習で分かったことをノートにまとめる。</p>		

(3) 評価規準

寒さの厳しい北海道に住む人々のくらしの工夫が分かる。

[知識・理解]

【第7時(7/9)】

(1) 本時のねらい

北海道で多くの農産物が作られていることを調べ、広大な土地や冷涼な気候を生かした農業が行われていることをつかむことができるようにする。

(2) 指導過程

主な学習活動	指導上の留意点	資料
1. 北海道でとれる原材料で作った農作物を提示し、どんな作物が作られているかを予		<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の写真 ・乳製品の実物

<p>想する。</p> <p>2. 地図帳で十勝平野で作られている作物を調べよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じゃがいも ・てんさい ・とうもろこし ・あずき ・ながいも ・だいず ・乳牛（牛乳） <p>3. 学習問題をつかむ。</p>	<p>補・地図帳の十勝平野の範囲を指し示したり，農作物の記号を指し示したりする。</p>	
<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">十勝平野では、多くの野菜を作るためにどんな工夫をしているのだろう。</p>		
<p>4. 教科書p 4 2～4 3の十勝平野の写真を提示し，畑の様子について気が付いたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな色になっている。 ・刈り取られた後がある。 ・まっすぐな林がある。 ・畑が四角になっている。 ・果てしなく畑が続いている。 <p>5. 畑の色が違うことや林の存在がある理由を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色が違うところは作物が違うからじゃないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3人組になり，気が付いたことを箇条書きにさせる。 ・十勝平野の地図に仙台市の地図を重ね合わせることで広大な土地の広さをつかませたい。 ・教科書p 4 2の板東さんの話から「毎年順番に作物の場所を変えている」「気候に合った作物」であることを読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図帳 p 4 4 ・教科書
<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">林はどんな役割を果たしているのだろう。</p>		
<p>6. 今日の学習で分かったことをノートにまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防風林の果たしている役割についても話し合いの中で考えさせていきたい。 発 林の様子からどの方角から風が吹いてくるのかを調べるように声がけする。 ・様々な工夫や努力で多くの作物ができていることに着目させたい。 	

(3) 評価規準

北海道では農家の人々が広大な土地や冷涼な気候を生かした農業を行うために，様々な工夫や努力を行っていることをとらえている。 [知識・理解]

【第8時（8／9）】

(1) 本時のねらい

北海道の厳しい寒さと雪や氷や寒さを生かしたくらしの工夫を結びつけて考えられるようにする。

(2) 指導過程

主な学習活動	指導上の留意点	資料
<p>1 北海道の冬の気候を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・－10℃以下になるからとても寒い。 ・雪が多く降る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・陸別町の雨温図

2 学習問題をつかむ。		
北海道の人にとって冬の寒さが運んでくる雪や氷はじゃまだろうか？		
3 立場を決めて理由を考え、話し合う。 <じゃま派> ・農業ができなくなるから。 ・外に出られなくなるから。 ・寒いから。 <じゃまではない派> ・氷ができるとスケートができるから。 ・雪が降るとスキーができるから。	・遊びやスポーツの面に考えが集中しているときには、働いている人の目線でも考えられるように助言する。 ・勝ち負けを決めるのではなく、多面的に事象を見られるように支援する。 補 よい考えをもっているがなかなか進んで発表できない児童に対しては、机間指導の際にほめておき、安心して発表できるように支援する。	
4 児童の体験や教科書などから冬の北海道の行事やスポーツを調べる。 ・陸別しばれ祭り ・流水観光船 ・スキー場、スケート場	・観光パンフレットなどから冬の寒さや雪が観光の仕事に役立っていることをつかませたい。	
5 北海道でくらす人々の話を読み、寒い冬を過ごす人々の工夫をまとめる。	・手紙から、農業ができなくなり困ることがあることや、雪や氷を生かした祭りや産業を行っていることを読み取らせたい。	・雪景色の写真 ・流水の写真 ・手紙（〇〇市観光協会の人）

(3) 評価規準

北海道の厳しい寒さと雪や氷や寒さを生かしたくらしの工夫を結びつけて考えている。

[思考・判断]

【第9時（9／9）】

(1) 本時のねらい

日本の地形に関心を持ち、主な山脈、川、半島の名称を調べ、地形の様子について特色をまとめられるようにする。

(2) 指導過程

主な学習活動	指導上の留意点	資料等
1 日本の衛星写真から日本の地形の様子をつかむ。 ・山が多い。 ・平野が少ない。		・衛星写真
日本の地形の特色を調べよう。		
2 「日本の屋根」「日本アルプス」という言葉から本州の中心の山脈を調べ、富士山をはじめ、高い山の多くが中部地方に集まっていることをつかむ。	・3人組にし、グループごとに意見をまとめるようにする。 ・白地図に色を塗ったり、主な山脈名を記入させたりすることで意識させる。	・地図帳 ・地図帳、資料集 白地図

<p>3 米作りの学習を想起し，平野と川の名称や位置を調べる。</p>	<p>・米作りには川の水が必要なことから平野と川の名称を関連付けて取り上げる。</p>	
<p>4 地形についてのクイズを行う。</p>	<p>・教師側で形式を示し，その後児童同士でクイズを出し合う場面を作ることで，楽しみながら学習に取り組めるようにする。</p> <p>・地図帳 p 58 や索引を活用してその位置を調べ，色を塗ることで位置と名前を関連付けてとらえさせるようにする。</p>	
<p>5 日本の地形について特色を文章にまとめる。 例「日本は（国土の中央に山が多い）国である。」</p>	<p>・「日本は○○○な国である。」という文でまとめさせる。 例 早く終わった児童には第1時で使った白地図に学習全体を通して分かったことを記入させる。</p>	<p>・白神山地，知床半島の写真</p>
<p>6 世界自然遺産の写真から豊かな自然が多く残されている様子をつかむ。</p>	<p>・豊かな自然が残されている様子をつかませることで，次の小単元への意欲に結びつけていきたい。</p>	

(3) 本時の評価規準

地図帳を活用して，主な山脈や平野，川などの名称を調べ，日本の地形の特色をまとめている。

[技能・表現]